

2026年 9 月 10 日 第2666回例会
9 月第 2 例会

RI会長メッセージ：CREATE LASTING IMPACT
「持続可能なインパクトを生み出そう」

本年度会長テーマ
「誇りと責任」

「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリーの友月間」

◆ 会長時間 ◆

加藤会長



ロータリアンの三大義務に「会費の納入」「例会への出席」「ロータリー雑誌の購読」があります。今月は日本独自のロータリーの友月間です。

『ロータリーの友』は、1952年、日本のロータリーの地区が東日本と西日本に分かれた時、会員相互の意思疎通を図ることを目的に翌年1月に創刊されました。当初の発行部数は3,300部で、ほとんどの会員が購読されていたそうです。その後、1977年に国際ロータリー(RI)で公式地域雑誌の規定が設けられ、日本では『ロータリーの友』か『The Rotarian』の購読が義務となり、『ロータリーの友』を毎月購読しています。RIの公式地域雑誌の条件の一つとして、『The Rotarian』の記事からRIが指定してきた記事を掲載することが決められています。『ロータリーの友』の目次に、「RI指定記事」という青色のRIマークの付いた記事がそれに当たるので、少なくともその記事は読んでいただきたいと思います。

「友」の横書きにはRI指定記事や特集記事など、ロータリーの基本的な情報や変化し続けている現在のロータリー情報の解説などが、また縦書きには日本の各ロータリー活動の紹介や、意見記事などの情報が掲載されています。「友」を読むことによって世界そして日本のロータリーの情報を得ることができます。個人的に好きな記事は縦書き

の『この人を訪ねて』です。見ず知らずの他地区のロータリアンのリーダーシップや人としての生き方を学ぶ事ができ、それらを教訓として行動へと繋げて行くこともできます。

つまり、「友」購読の目的は自クラブ以外の地区のロータリアン、日本全国のロータリアン、そして全世界のロータリアンと共に現在のロータリーの情報を共有することです。ロータリーは時代の変化に適応し、『ロータリーの行動計画』に基づいたクラブの活性化などが推奨されています。そうした行動へのきっかけともなる他クラブの取り組みや、活動事例などが掲載されている『友』をより多くの会員が読むことが、強くインパクトを生むクラブになるように思います。

一度に読み切る事は難しくても、机の傍に置いて少し時間の余裕のある時に開いて読んでください。インパクトのある記事がきっと見つかります。

📌 **ロータリー財団「ポール・ハリス・フェロー 認証及び襟ピン」の伝達**



玉木 ひろみ 君

● 会務報告 柴田幹事

📌 ロータリーレートが9月から1ドル160円（8月まで162円）に変更になりました。

● 第2回理事会議事録

日時 2026年8月6日(木) 11:00～

場所 ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「アマリリス」

報告事項

各委員会状況について

■ 地域・環境委員会

地区補助金申請については当初の「まなび
キャンパスひろしま」への支援予定を見送
り、新たな活動を模索する。

■ 社会・青少年奉仕部門

7月25日の平和の池・多言語説明板 清掃
活動において、複数のメディアの取材を受
け、放映・掲載された。

7月度収支計算報告について

審議事項

- ① 第1回理事会議事録の承認について 承認
- ② 7月25日平和記念公園 平和の池・多言語
説明板 清掃活動報告 承認
- ③ 7月30日夜間例会並びに会員懇親会 報告
承認
- ④ 9月24日新会員を囲む懇談会について
承認
- ⑤ 10月1日米山奨学強調プログラムについて
承認
- ⑥ 令和8年熊本地震災害に対する支援金につ
いて 承認
- ⑦ 2027-28年度青少年交換派遣学生の推薦に
ついて 承認

協議事項

- ① 地区大会友愛の広場への出展について
- ② 8月27日ガバナー公式訪問フォーラム質問
事項について

次回開催日

2026年9月3日(木) 例会終了後～



● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 原 君

本 日 (9月10日・木曜日)

会員数	93名	出席者	68名
欠席者	25名	ご来客	0名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
		計	68名

4週前の例会 2026年8月6日(木)

出席率 100%



✳ 会報雑誌・広報委員会

岡野君

ロータリーの友誌紹介



✳ 青少年・インターアクト委員会

吉田(浩)委員長



RYLAのご案内

地区事務局より、来年4月17～18日に開催
される国際ロータリー第2710地区 防災RYLA
開催の案内が届きましたので、ボックス配布さ
せていただきました。RYLAはロータリーが世
界各地で実施している青少年リーダー育成プロ
グラムです。今年は「防災」をテーマに開催さ
れます。

この機会に会員の皆様また社員様でご興味
のある方は是非、参加されてみてはいかがでしょうか。

✳ 国際奉仕委員会

玉木委員長

バルセロナ国際大会のご案内

● 同好会報告

■ 経済研究会

小橋会長



9月7日(月)に、経済研究会の総会と懇親会を石亭で開催いたしました。経済研究会の会員は21名ですが、11名の参加でした。

コロナウイルス以降、まともな活動ができなかったのが、今年度は遠征しようということで大変盛り上がりました。後日、多数決で行き先を決めたいと考えています。

● 会員記念日

祝 連続出席100% (6名)

部谷君 (10年)	井原君 (9年)
上野(彰)君 (8年)	小宇羅君 (7年)
亀田君 (4年)	佐々木君 (2年)

連続出席記念品贈呈



10年 部谷 俊雄 君



ご結婚記念日おめでとうございます。

(8名)

笹野君	松田君	高島君
大谷君	小島君	八條君
長谷川(行)君	大植君	

● スマイルボックス

SAA 前橋君

森信君 (自主申告・金一封)

本日配布の「ロータリーの友」縦書き16ページフレンドシッププラザのコーナーに「世界一周ひとり旅」と題して私の寄稿が掲載されています。ひげをたくわえた私の写真とともに26日間の旅行の様子が掲載されていますので是非ご覧ください。

小宇羅君 (自主申告・トリプル)

持続未来グループは、24時間ジム『ECOFIT 24』の4店舗目となる「広島八幡店」が、ザ・ビッグ五日市店の近くに9月29日グランドオープンいたします！月額2,980円、というリーズナブルプライスながら、マシン台数、フリーウエイトエリアの充実にこだわったフィットネスジムです。現在、先着300名様限定で、入会金5,000円や9月分日割り会費が無料、さらに10月分の会費が980円となる、お得なキャンペーンも実施中です。

そしてもう一つ、「まだ使えるモノを、次に必要とする人へつなぐ」をコンセプトに、リユース事業『マクサス広島西店』もスタートいたしました。ご家庭や事業所で使われなくなった家具・家電・ブランド品・趣味の品などを査定買取し、廃棄削減と資源循環を目指しています。

加藤会長、柴田幹事 (スマン 柴田幹事)

ガバナー月信9月号の「我がクラブの会長」という、幹事が会長を紹介するコーナーに、加藤会長の写真と柴田幹事の文章が掲載されていました。加藤会長の本年度活動への思い(意気込み)が語られ、加藤会長と柴田幹事の強い絆を感じさせる文章でした。まだご覧になっていない方はぜひ一読ください。

しかしただ一つ、文章の中で「広島西RCは本年度創立56年目」とありますが、今年度は創立57年目となります。一年間違っています。というわけで柴田幹事はスマンボックスにもご招待いたします。

●スマンボックス

● 玉木君（ダブル）

事務局より7月9日締切で、提出依頼メールをいただいていたにもかかわらず、事業報告書「あゆみ」の原稿提出を失念しておりました。

私の原稿提出の遅れにより、「あゆみ」の発行が遅れてしまいましたことを、関係者の皆さまに心よりお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

■新会員卓話



伊東 浩弥君

このたび新会員卓話の機会をいただき、自己紹介と会社紹介をさせていただきます。

私は神奈川県横浜市出身で、東海大学工学部建築学科を卒業後、2000年に前田建設工業へ入社しました。入社以来約22年間、東北6県で建築施工管理に従事し、学校、庁舎、マンション、商業施設など様々な建築物の現場を経験してまいりました。現在は中国支店長として広島に赴任しております。自宅は仙台市にあり、単身赴任生活を送っていますが、月に一度の帰省では家族とともに3匹の愛犬に迎えられることが楽しみの一つです。

私の在籍する前田建設工業を中核とするインフラニア・ホールディングスの取り組みについても紹介します。建設会社というと「建物や道路を造る会社」というイメージがありますが、近年は施工だけでなく、空港や有料道路、アリーナ、水道事業などの運営にも取り組んでいます。代表例として、仙台空港や愛知県有料道路、IGアリーナなどの運営事業に参画しており、「造って終わり」ではなく、「造った後の運営まで担う」総合インフラサービス企業を目指しています。

また、広島における施工実績として、BIG FRONT ひろしまやhitoto広島 The Tower、さらには三原市佐木島の「NOT A HOTEL SETOUCHI」

なども紹介します。街の風景として残る建物に携われることは、建設業の大きな魅力であると感じています。

最後に、当社の少し変わった取り組みとして「ファンタジー営業部」を紹介します。これは実在する部署ではありませんが、マジンガーZの格納庫やガンダム、銀河鉄道999など、アニメや漫画に登場する架空の構造物を「もし本当に造るとしたら」という視点で真剣に検討する企画です。その活動は映画化され、テレビ番組から「日本とハワイを道路でつないだらいくらかかるか」といった相談を受けるほど話題となりました。遊び心のある発想も、新しい発見や技術革新につながる大切な要素だと考えています。

広島に来てまだ日が浅く、ロータリーでも新人ですが、多くの皆さまとの交流を通じて学びを深め、地域や社会への貢献につなげていきたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



瀬戸内から大阪堺へ

豊瀨 孝信君

私の母方の祖父は、大阪府堺市で代々続く魚卸問屋「鎌定」を営んでいました。家紋は桐紋、姓は鎌苅です。幼い頃から、家のルーツは広島県の蒲刈島にあると聞いていましたが、広島に赴任し、瀬戸内海の歴史に触れる中で、家に伝わる話が歴史的に成立し得るものだと感じるようになりました。

戦国末期から豊臣秀吉の時代、瀬戸内海は物流と軍事を支える重要な海路でした。多島海で潮流が複雑なため、蒲刈島のような潮待ち・風待ちの港が発達し、海を熟知した海民が海上案内役や水先人として暮らしていました。秀吉が中国、四国、九州への軍事行動や朝鮮出兵を進める際にも、船団を安全に導く海上案内役は欠かせませんでした。一方、秀吉は1588年に海賊停止令を発布し、海の民に臣従、家臣化、武装解除などの道

を求めました。功績のあった者には名字や家紋の使用を許すこともあったとされ、秀吉が好んだ桐紋は、家臣や協力者にも与えられたと伝わっています。

一族の口伝では、蒲刈島で秀吉の海上案内役を務めた人物が、その功績によって「鎌苅」の姓と桐紋の使用を許されたとされています。当時の証文は残っておらず、公的史料による裏付けは確認できませんが、「鎌苅」と地名の「蒲刈」の近さや、瀬戸内海の歴史、秀吉の政策を重ねると、成立し得る話だと感じています。また、現在の呉市には「蒲刈」と「豊浜」という二つの地名があり、安芸灘とびしま海道でつながっていることにも不思議な縁を覚えます。

蒲刈島から堺へ移った理由には、堺の町の性質が関係していると考えられます。堺は鎌倉時代からの漁港で、戦国期から江戸初期には貿易で栄えた自治都市、環濠都市でした。魚問屋は当時の堺で珍しい商いではなく、海運、漁業、魚問屋は瀬戸内の海民が得意とする職能でもありました。蒲刈島の海民が秀吉に仕え、経済の中心地である堺へ移り、魚問屋を営むようになったという流れは自然です。祖父が堺港近くで「鎌定」を営んでいたことも、その延長線上にあるのかもしれませんが。

瀬戸内海を舞台に生きた先人たちの営みが、時を超えて、今の私につながっている。人と人、地域と地域をつなぐ海の道のありようは、ロータリークラブが大切にする奉仕の心にも、どこか通じるものがあるように感じています。



あれもこれも仏教語？

長 泉 英 紀 君

私たちの生活に溶け込んでいるあの言葉、その言葉、元は仏教語です。例えば「挨拶」「有難い」などなど。そんな言葉の中で今年に加藤正副を表す言葉がありましたので、ご紹介します。

「唐獅子牡丹」は任侠映画だけではなく、寺社

仏閣などの彫刻にも見られます。

唐獅子のモデルは古代インドやペルシャに生息していたライオンです。それが中国に伝わる中で、想像上の『唐獅子』へとデザイン化されました。

牡丹は百花の王で、このように百獣の王ライオンと百花の王の牡丹を組み合わせることで、より格調高さと威厳を強める図柄になっています。

唐獅子牡丹にはこのような逸話があります。何も怖いものがない百獣の王の獅子ですが、その獅子が恐れる唯一のものが、獅子に寄生する虫だそうです。その虫は獅子の体毛に寄生し、やがて皮を破り肉に食らいつき内臓を食い破って死に至らしめるそうで、獅子身中の虫と言います。しかし、この虫は牡丹の花から滴り落ちる夜露にあたると死んでしまいます。そこで獅子は夜になると牡丹の下で眠ります。獅子にとって唯一心の休まる安住の地が牡丹の下なのです。

私たちは職場、家庭など様々な問題を抱えて生活していますが、唯一心の休まる場所がこの広島西RCですと、加藤会長執行部の出し物は任侠の姿を通して皆さんに伝えられたと受け止めました。

「唐獅子牡丹」といえば映画俳優の高倉 健さんですが、この方の座右の銘が「我行精進忍終不悔」（がぎょうしょうじんにんじゅふけ）千日回峰行を二回満行された酒井 雄哉 大阿闍梨から贈られた言葉だそうです。「無量寿経」に説かれる言葉で「たとえどんな苦難にあっても、ひたむきに努力を重ね、耐え忍んで、決して後悔はしない」という意味です。丁度その頃映画「南極物語」のオファーを受けた際、あまりに過酷な極地ロケなので受けるべきか苦悩されたそうですが、「我行精進忍終不悔」の言葉に背中を押され迷いを振り払い出演を受け、生涯この言葉を大切にされたそうです。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
10/1(木)	強調プログラム 米山奨学委員会担当



例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 加藤 博基
幹 事 柴田 脩司

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

